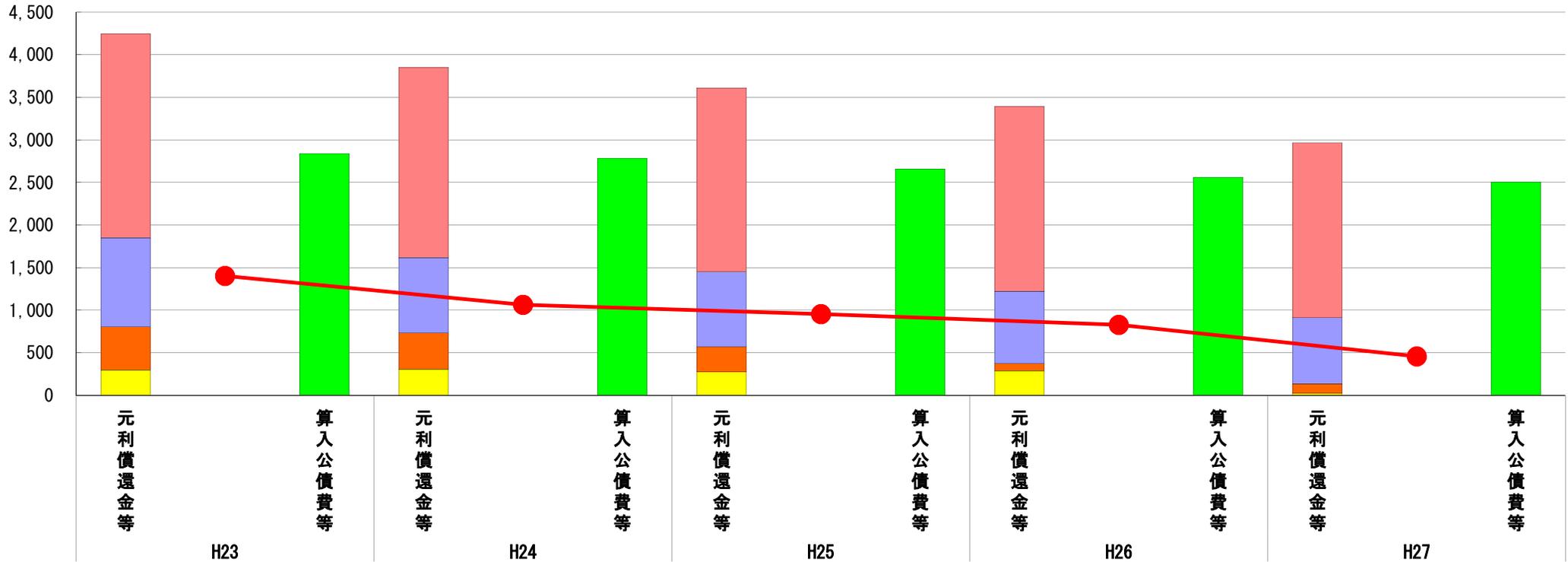


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

岡山県笠岡市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,393	2,231	2,157	2,169	2,053
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,042	883	884	847	776
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		511	428	292	91	113
	債務負担行為に基づく支出額		296	306	278	285	24
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,839	2,784	2,655	2,562	2,507
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,403	1,064	956	830	459

分析欄

- ・繰上償還額を控除した元利償還金の額は、借入金の一括償還や継続的な市債借入額の制限による効果で減少している。下水道会計においても同様の取り組みを実施しているため、公営企業等の元利償還金に対する繰入金も順調に減少している。
- ・債務負担行為に基づく笠岡湾干拓事業負担金の支払いがH26年度で終了したことにより大幅に数値が改善している。
- ・今後の見込みとして、臨時財政対策債の元金償還が本格化することにより、元利償還金は増額傾向になると見込んでいるが、その分、算入公債費も増額するため、比率には影響はないと想定している。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。